



小学校

もちつきたいかい

一年B組 かとうだいち

はじめに、もちごめをたべました。ほかほかでおいしかったです。そのつぎに、もちをつきました。きねは、おもたかったけど、おもしろかったです。

さいごに、じぶんでついたもちをたべました。ほかほかだったのは、あんこときなことです。

かむのがたいへんだったけど、やわらかかったです。

また、らいねんも、もちをつきたいし、たべたいです。



楽しいはん売

三年A組 太田 青葉

三年生のぼくたちは、ほうれん草とこまつなを売りました。二回目の今回は、多くの人に来てもらいたいと思い、チラシをすこやかセンターのけいじ板やじどう館の

入り口にはつてもらいました。それだけではまだ全部売れないと思ったので、先生や学校全員に朝礼や給食の時にせんでんしました。でも、お客さんと呼んだだけで、買ってもらえないかもしれないので、しょう味期げんをはったり、買ってもらった人にレシピアプレゼントを配ったりとくふうしました。

当日は、がんばって知らない人にもチラシを配りました。よそういじように、売れたので、うれしかったです。はん売時間の半分の時間で全部売れた」と、みんなではしゃいでいました。

次も、おいしい野菜を育てたいです。

愛知駅伝

五年A組 岡部瑞季

冷たい風がスーッと私の体にしみこみました。手足が生まれたばかりの子牛のようにすぐくふるえて、自分でもこんなにきんちようするんだとおどろきました。

一区がスタートした後、準備運動をしつかりし、体をやわらげました。私は四区を走りました。



三区からたすきをもちろうときに、「みんなのために今まで練習してきた成果をすべて出しきろう」という思いがこみ上げてきました。

走っている間にそれがだんだん強くなり、スピードを少し上げていきました。六位から一つ順位を上げて、チームのためになることができたので、胸の中がうれしい気持ちでいっぱいでした。しかし、最後に坂があり、力を出しても出しても呼吸がしづらくて苦しくてスピードが出ず、くやしかったです。

五区の走者にたすきをわたす時に目の前がくらくなりました。やりきったという気持ちでいっぱいでした。そんな中で、父、母、兄達の笑顔が見えました。

最後までチームのために全力で走って笑顔になった私は、家族の方へゆつくりと歩きました。

愛知駅伝を通して

六年A組 久野一眞

僕は愛知駅伝を通して、努力は裏切らないことを知り、強くなることができました。

僕は、今まで走ることがあまり好きではありませんでした。でも三年生の時、兄が愛知駅伝で選手として走る姿を見て、僕も速く走れるようになりたいと強く思いました。そこから僕は飛鳥村のランニングクラブで週一回朝七時から練習を続けました。苦しくてやりたくない時もありましたが、体力もついてだんだん速く走れるようになりますと、走る事が楽しくなりました。そして、去年の愛知駅伝では控え選手、今年は選手として走る事ができました。また、兄が五区、僕が六区で兄弟たすきリレーが実現しました。

大会当日、ものすごい緊張とプレッシャーでしたが、たすきを兄からもらう時、「任せろ」という言葉とたくさんの方の応援で、自己ベストタイムで走り切ることができました。すごくうれしかったです。

これからも、もっと速くなるように努力を続けていこうと思います。

中学校

我ががサッカー部

八年B組 野中杏滋

僕がサッカー部新キャプテンの野中杏滋です。サッカー部は伊藤真生先生と山本武史先生の指導のもと活動しています。僕たちは西尾張ベスト8という目標をもって練習に取り組んでいます。西尾張ベスト8という目標は決して簡単なものではありません。昨年は約十年ぶりに夏の大会初戦を勝ち上がることができました。やっと初戦を勝ち上がったような状態では、西尾張ベスト8は無理ではないか?と思う人もいるかもしれませんが、サッカー部一同目標を高く持ち練習に取り組んでいます。

僕が部活動で学んだことはたくさんありますが、一番思うことは信頼関係の大切さです。周りの人を信頼しないとチームが成り立たないので、信頼関係を築くことが大事だと思っています。そして皆さんに部活動を通して伝えたいことは、部活動は、仲間とともに成長できる場所なので、とてもいい場所だということです。僕たちは

これからも目標を高く持ちサッカー部みんなががんばっていくので応援よろしくおねがいします!

創作奉仕部

八年A組 立松由羽

創作奉仕部は他の部活のように運動中心の部活ではありません。その代わりに学校の周りを二周走り、タイム計測をしています。普段は外周を走った後には、家庭科室へ行き、秋に行うふるさとフェスタのバザーに出品するための物を作ったり、夏休みになるとやすらぎの里へ行き奉仕活動をしたりします。

創作奉仕部の目標は、他の部活よりは少人数ですが、丁寧につこつ活動に取り組むことです。

創作奉仕部はぬい物や小物を作ったりする作業が多いので手先が器用になります。

ボランティアや奉仕活動を通して、やり切った後の達成感を味わう事ができるとても楽しい部活です。

バスケットボール部

八年B組 吉田朱里

バスケットボール部は大久保先生をはじめ松原先生、渡辺先生、そしてたくさんの方のご協力をいただき、八年四人、七年四人の計八人で日々練習に励んでいます。私たちの目標は、夏の県大会でベスト8に入ることです。そのために、大久保先生が築き上げてきたバスケット部を守り、学園の生徒として当たり前のことを当たり前にし、礼儀を守りながら、新しい意見を取り入れ、自分たちらしいバスケットをしています。

部活動では、あいさつや礼儀、上下関係などたくさんのことを学びました。「こうするんだよ。」と先輩に教えてもらったあいさつや礼儀は、伝え続けねばならない大切なものだと思います。先輩、後輩の関係も「バスケット部は厳しい。」と言われることもあります。ですが、今までたくさんの方々が伝えてくださったバスケット部の伝統です。先輩という立場となった今、八年四人で協力し、引退までに後輩へ伝えていきたいと思っています。

卓球部女子

八年B組 伊藤光希

私たち女子卓球部は、八年生二人、七年生六人の計八人で活動しています。主な活動として、朝練では基礎を中心とした練習をして、午後練では自分たちの苦手な所をやる課題練と、試合形式のゲームをやっています。

卓球では、個人戦と団体戦があります。個人戦では、一人一人の力を出して頑張っています。九年生の先輩や他の学校の三年生が引退された今、八年生が一番上の学年なので、試合に勝つてできるだけ上の大会に行けるように頑張っています。団体戦の選手は六人必要なので、四人が七年生になります。他の中学校はほとんどが二年生なので試合では負けることが多いです。だから八年生の私たちが頑張つて勝ち、七年生も少しでも勝てるようにしていきたいです。団体戦の目標は、南ブロックで上位に入るようにして、夏の大会で西尾張大会に行くことです。個人戦の目標は、自分が後悔のないように精一杯頑張ることです。七年生の頃は、先輩に教えてもらうことが多かったの



が、八年生になって教えることがすごく難しくて大変なことが分かりました。自分で気づくことで自分の練習につながるがありました。女子卓球部は人数が少ないですが、今まで学んだことを生かし、春に入ってくる新七年生も含めてみんな協力して頑張っていきたいです。

卓球部男子

八年B組 岡部煌大

卓球部は、まだ部ができてから三年もたっていないですが、部員十七名で日々、練習に取り組んでいます。部員はみんな個性が豊かで楽しく、笑顔が多くあります。

卓球部男子の掲げる目標は二つあります。一つは、「下手でも卓球をする」です。これは昨年同様、下手でもいいからとにかく練習をしようということです。もう一つは「限界を作らない」です。人は限界をつくってしまいがちです。それが、後悔につながってしまうと思います。他にも一人一人に自分の目標をもっていて、それに向けて日々練習しています。

部活は、人として成長できる場所だということを後輩たちへ伝え

たいと思っています。上下の関係があったり、試合などへ行くと、だんだんと友達がふえていき、コミュニケーション能力が上がっていくと思います。また、試合へ行く事で、新しい技術を自分の物に出来る機会になります。

ソフトテニス

八年B組 上田 亜美

私達テニス部は八年生八人、七年生三人でみんな毎日休まず元気に活動しています。秋にあった新人戦では、二年ぶりとなる西尾張大会へ出場をはたすことができました。おしくも県大会出場は逃してしまいましたが、西尾張大会出場が目標だったので、仲間とはげまし合い、笑顔で帰ることができました。

これからのテニス部の目標は、大きい大会の団体戦で表彰状を持ち帰ることです。今まで部活をやっている私は表彰状をもらったことがあります。そのため表彰状を持って帰る大変さを分かっています。引退するまでに今のチームで表彰状にむかってがんばりま

す。七年生から今まで部活を通して、あきらめないことの大切さを学びました。「もういいや」と思ってしまったら、もう試合には勝てません。勝てないと思っても「まだ大丈夫」と仲間とあきらめないでがんばることが大切だと思います。私達のやっているテニスは一人ではできません。ペアの子はもちろん仲間がいるから、戦うことができます。今のチームのみんなや、これからテニス部に入部する予定の子には、みんなで何かをなしとげる楽しさを伝えていきたいと思っています。

野球部

八年B組 山下 愛翔

野球部は赤岩先生・鬼頭先生の指導のもと練習に取り組んでいます。現在部員の数は十二人と、去年に比べてとても増えました。今年初めて野球をやる子が多く、その内には女子もいます。

今年に入ってから、試合でもすこしずつ勝てるようになってきました。

野球部は夏の大会で一回でも多く勝つことを目標に日々練習をし

ています。

野球部に入って僕が学んだことは、日常の過ごし方がプレーに反映してくるということです。学校生活で時間を守れなかったり、宿題を出せない人はプレーが雑になり、良い結果を残せないことを学びました。

野球は勉強のようにやった分だけ力がつくとは限りません。また試合で一球もボールが飛んでこないこともあります。飛んで来るか分からないことのために努力し続けることはとても大変です。しかしその一球を取ったときには、とても嬉しい喜びを感じられます。

飛島学園 2月の行事予定

4日(火)～6(木)	私立高校一般入試㊥
13日(木)	保育園・保育所との交流会(1年)㊤
14日(金)	卒業テスト(9年)㊥
17日(月)	学年末テスト(5年～8年)㊤㊥
18日(火)	学年末テスト(7年・8年)㊥
20日(木)	□座振替日㊤㊥
21日(金)	9年生を送る会㊤㊥
26日(水)	上級学校訪問(8年)㊥
27日(木)	授業参観・学級懇談会㊤